

「新宿御苑の野草」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

新宿御苑の北側に、流れを伴った遊歩道がある。これは、かつての玉川上水の流路の上に作られた散策道である。玉川上水そのものの遺構は、遊歩道の下にある。今の流水は、甲州街道の「新宿御苑トンネル」の掘削時に出現した湧水を利用して、再現したものだ。流れの岸にはたくさんの野草が植えられている。



「イカリソウ」 形が小型船の錨に似ている



「ヒトリシズカ」 愛すべき姿の野草である



「玉川上水を偲ぶ流れ」 新宿区が設置した遊歩道



「ニリンソウ」 今では珍しい野草になってしまった

いずれもかつての武蔵野台地には、ごく普通に見られた野草である。新宿御苑も武蔵野台地の東端に位置する。こうした野草が、風致された区域に自生する姿はすばらしい。私の勤務する大学も、同じように武蔵野台地の東端にある。大学構内にも、本来の「武蔵野台地」の姿が再現されることを願っている。